

各位

2017年2月23日

アプリックスIPホールディングス株式会社

(コード番号:3727 東証マザーズ)

## アプリックスIPホールディングス

### 黒字化の業績予想を発表、IoT 事業が牽引

アプリックスIPホールディングス株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役:長橋 賢吾、以下「当社」)は、黒字化の平成 29 年 12 月期通期業績予想を発表しました。

当社では IoT 関連事業における当社の収益性向上を図るため、平成 27 年に当社 CTO(Chief Technology Officer、最高技術責任者)に就任し、平成 28 年度に取締役役に選任された石黒邦宏を中心として、IoT 関連事業の強化及び IoT 時代に即した新たなビジネスモデルである IoT ソリューションを推進してまいりました。すでに発表しているとおり、ネスレ日本株式会社様向けのアプリケーションおよびクラウドシステムの開発や米国 Guardian Technologies LLC 様向けの空気清浄機の IoT 化及びアプリケーション開発等、その成果が具体化してきており、今後の事業の収益性の拡大に向けて更なる取り組みを進めております。

さらに、当社では、経営の効率化とコスト削減のため、当社連結子会社である株式会社アプリックスと合併し、持株会社体制から事業会社へ移行することといたしました。また、第 32 回定時株主総会で承認されることを条件として、当社商号を「株式会社アプリックス」に変更すること、繰越利益剰余金の欠損を補填すること等を本日の取締役会において決議しております。当社では、新経営体制のもと、本日発表した平成 29 年 12 月期の連結業績予想の達成を目指すとともに、本日開示した施策等を着実に実施し、当社グループの経営資源をすべて「新生アプリックス」に投入することで、収益基盤の強化と財務体質の健全化、ひいては収益性の拡大を目指してまいります。

なお、総合エンターテインメント関連事業の整理をする中で唯一残っていた出版事業については、事業単独で黒字を確保できるところまで収益構造を改善し、非中核事業ではあるものの当社収益に貢献できる体制を整えておりましたが、IoT ソリューション事業に注力する体制を構築するため、本日平成 29 年 2 月 23 日に当社連結子会社であるアプリックス出版ホールディングス株式会社の子会社であり、出版事業に属するアプリックスIPパブリッシング株式会社、フレックスコミックス株式会社及び株式会社ほるぷ出版についてその全株式の譲渡を決定いたしました。

また、当社創業者であり現代表取締役 兼 取締役社長である郡山龍は、過去において当社が行っていたエンターテインメント事業等の整理の見通しが立ち、また現在当社が取り組んでいる IoT ソリューション事業における今後の黒字化への目処が付いたこと等の理由により、経営の執行を速やかに移管するために本日平成 29 年 2 月 23 日付で代表権を返上し、平成 29 年 3 月 28 日開催予定の第 32 回定時株主総会にて取締役の任期が満了するまで代表権のない取締役会長として円滑な経営の移行に注力します。また、取締役の任期満了後は、無報酬の社外の立場で必要に応じて当社事業を支援してまいります。

#### ■ アプリックスIPホールディングス株式会社について

アプリックスIPホールディングスの使命は「ソフトウェアの力で世の中のあらゆる人々に幸せをもたらすこと」です。携帯電話でのJava利用という新しいフロンティアを切り開いた「JBlend」に続き、開拓中の分野が、IoT(Internet of Things)です。当社ではIoTモジュール(ビーコン)、スマホアプリ、クラウドサービス等のIoTソリューションを一貫して提供することで、家電製品等のIoT化を推し進め、「モノからの通知によって人々の生活を豊かにする」というコンセプトの実現を目指しております。

アプリックスIPホールディングスのwebsite(投資家情報等):<http://www.aplix-ip.com/>

アプリックスのwebsite(テクノロジー事業等):<http://www.aplix.co.jp/>

#### ■ お問い合わせ先:

お問い合わせのページ:<http://www.aplix-ip.com/contact/>

※ 記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。